

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

学校名	伊万里市立大川内小学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学校・家庭・地域が連携して児童の教育に携わることができた。職員・保護者・児童・地域対象の教育に関するアンケート調査においても、それぞれに高い評価を得ることができた。 ・学力向上に向けた指導法の改善を図る必要がある。とくに3年生は、CRT調査で全国の平均値を下回り、4年生も県の学習状況調査で県平均値を下回った。児童の実態を分析し、課題を明らかにした上で授業の質的改善と家庭学習の充実を図っていく必要がある。 ・これまで同様にいじめの未然防止、早期発見、早期解決に努め、いじめのない学校づくりを目指す。 ・働き方改革の視点から、職員一人一人に超過勤務を削減する必要性の意識付けはできてきたが、その実現に向けた具体的な取り組み方の工夫を考える必要がある。
2 学校教育目標	「笑顔で元気な大川内っ子」の育成 ～やさしい心で よく考え 行動 自分から～
3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の協力を受けながら教育活動を展開し、地域のよさを誇りに思い、地域の「人・もの・こと」と連携し、成長していくことに喜びを感じる児童を育成する。 ・常にすべての児童が、基礎的・基本的な知識及び技能を習得することを意識した学習活動を展開する。また、校内研究を軸に、確かな力を身に付け、主体的に考え、豊かに表現しようとする児童の育成を目指す。 ・家庭や地域、専門機関との連携を図りながら児童の学習面や生活面の様子をしっかりと見取っていく。

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	主な担当者
---------------	------	--------	-------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・学期末にマイプランについて振り返る時間を設定し、意識化を図る。			
○基礎的・基本的な知識及び技能を習得するとともに、自分の思いや考えを進んで伝えることのできる力の育成	○国及び県の学習状況調査やCRT検査において、全国や県の平均値を上回ることを目指す。	・日々の授業において、西部型授業を実践したり、対話的活動を工夫したりして、児童の確かな学力の向上を目指す。 ・学習状況調査やCRTの結果を分析し、日々の指導の質的改善点を考える研修を行う。								岩本(学力CD) 小松(研究主任)
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○90パーセント以上の児童が、交流をしているときや、交流後に書く感想で、誰もが交流を持った相手に対し、思いやりのある気持ちや相手を敬う気持ちなどを表現することができる。	・縦割り活動を行ったり、特別支援学校との交流を行ったりしながら相手を思いやる気持ちや敬う気持ちを育てる。							志方(特別支援) 永尾(道徳推進教員)
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめの未然防止、早期発見・早期解決に努める。 ○「学校が楽しい」と答える児童90%以上を目指す。	・1月1回の「心のお天気」アンケートや6、10月のアンケート調査で、児童の友人関係や悩み等を把握する。 ・配慮を要する児童等について、連絡会で情報交換の機会を設け、職員の共通理解を図るとともにSC、SSWと情報交換を密にし、連携を図りながら支援する。							久保香(生活指導) 志方(教育相談)
●健康・体づくり	○元気なあいさつや温かいことばで交流する児童の育成	○「あいさつができてい」と答える児童の割合や地域、保護者の割合も90%以上にする。 ○「言葉づかいに気をつけている」と答える児童の割合や地域、保護者の割合を90%以上にする。	・場に応じた言葉遣いやあいさつができるように、全職員で日常的に指導する。 ・学級指導や道徳などで、児童の実態に合わせて取り扱い、意識の向上を図り、日常に生かす。							(生活指導)久保香 (生活指導)小松
	次の中から1つ以上を選択 ①「運動習慣の改善や定着化」 ②「望ましい生活習慣の形成」 ③「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」 ④「安全に関する資質・能力の育成」	①授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童生徒60%以上 ②朝食喫食率93%以上を目指す。 ③「健康に食事は大切である」と考える児童生徒80%以上 ④児童生徒の交通事故を0(ゼロ)にする	①持久走月間、縄跳び等の取組等を通じ、運動することの素晴らしさを実感させ、運動を促すようにつなげる。 ②③食育月間中、4年生以上を対象にチェック表を活用し、保護者と連携して取り組む。 ③栄養教諭と連携して、低・中・高学年を対象に食育の授業を実施する。 ③④保健だより等で、年間を通して心身の健康づくりを呼びかける。 ④地域の見守り隊との連携を図りながら、通学路の安全点検及び安全指導を実施する。							(体育)山崎 (保健)山下 (生活)久保香
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・金曜日を定時退勤日とし、定時退勤を推進する。 ・平日は、19時をめやすとし、また、月45時間以上の超過勤務がないよう呼びかける。							佐々木(教頭)
	○会議や事務の効率化	○会議の超過時間を0を目指す。 ○誰もが手軽に必要な文書や授業の教材等を、校務サーバーから取り出せると感じられるように整理する。	・資料の事前配付と、資料を読んだからの参加を徹底したり、会議の開始、終了時刻を厳守したりする。 ・校務分掌や教材研究等に対する時間削減のために、文書や授業の教材等を校務サーバーに保存し、有効活用する。							佐々木(教頭) 岩本(教務) 各担任

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				◎志を高める教育	◎地域の「人・もの・こと」とふれあい、そのよさを感じ、地域を大事にする心を育む教育活動	◎地域の「人・もの・こと」に愛着を持ち、大切にしていきたいと感じる児童を90%以上にする。	・田んぼの学校、各学年の発達に応じたふるさと学習、見守り隊の方とのふれあい等のよさに気づかせ、感謝の気持ちを育む。			
○特別支援教育の充実	○特別な配慮を要する児童に対する個別の支援計画に基づいた支援	○職員会議や職員研修等で、特別な配慮を要する児童について共通理解を深めるとともに、専門家の話を通して理解を深める。	・特別な配慮を要する児童をリストアップし、丁寧な見取りを行う。 ・夏季休業中に専門家を招聘しての研修を行い、個別の支援計画について見直しを行う。							志方(特別支援) 久保香(特別支援)
○危機管理の強化	○情報モラルの指導	○情報モラルについて、インターネット上の危険やSNSの適切な使い方を十分に理解できている児童を95%以上にする。	・アンケートを実施し、児童のインターネット機器や環境についての実態を把握する。その結果を基に指導内容の精選を行い、学期に1回以上指導を実施する。							佐々木(教頭) 久保香(生活指導)

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	
----------------	--